

ヤマハボート / 24



YAMAHA BOAT

ボートをドライにするチェーン



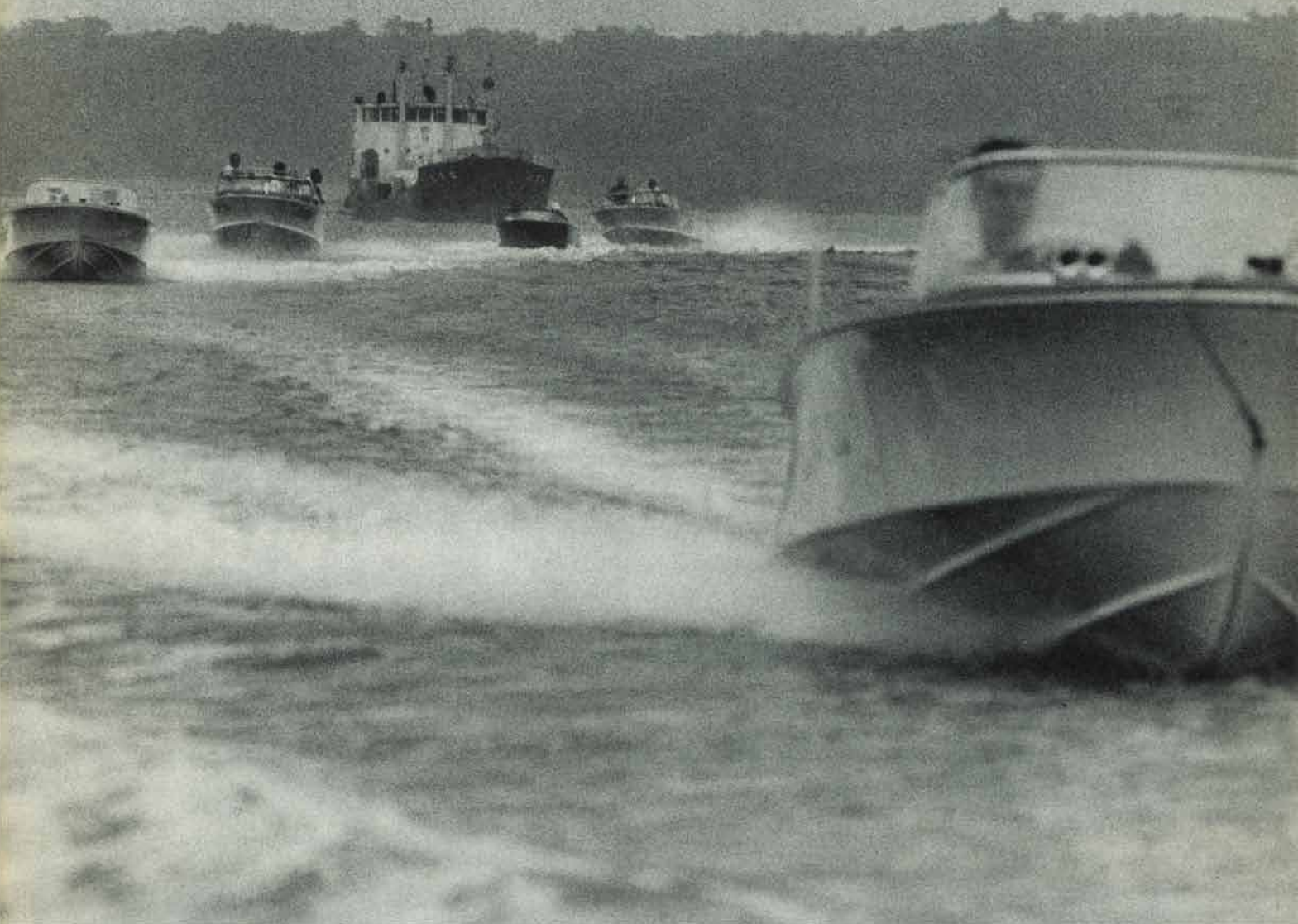
ボートの居住性で大切なことは、コックピットをドライにするということだ。

自動車泥んこ道を走ったからといって、乗っている人に泥がかかってはたまらない。と同じ理屈で、どんな波の中を走っても、コックピットはいつも乾ききっていないなくてはならない。

このために大切なのがボートのチェーンだ。ボトム（船底）とガンネル（舷側）のさかい目にある、一種のステップで、わかりやすく言えば、波かえし。この一本のステップで文字通り段ちがいの居住性を発揮するわけだ。

チェーンはこの他にも大切なはたらきをする。それは旋回時のバンク角を小さくすることだ。水の上にサラダボールを浮かべて、これを横にゆすつたら、ボールの中には水が入って沈んでしまうだろう。このように、ボートのボトムから、ガンネルまでの断面がまったくステップがなく連続した曲線だとしたら旋回のとこきボートはバンクしすぎてコックピットは水びたしになってしまう。このため、運動性を高めるためにもこのチェーンは大きなはたらきをしているのだ。写真はまさに旋回しようとするトリマランで、チェーンが波を落し、水の上でふんばってバンクを小さくしている状態がよくわかる。

クルージング・西から東から

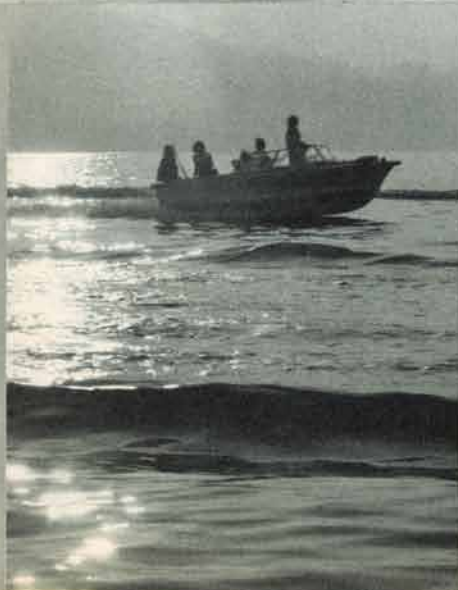


舗装道路の照りかえしと排気ガスにつつまれる陸のドライブにくらべて、潮風と太陽につつまれるボートのクルージングは、ほんとうに開放感にひたれる最高のブレイだ。

久しく人の訪れないひびきた海岸や無人島がその目的地。泳いで、もぐって、釣って、すべって、そして青い水平線と真白な積乱雲を求めてつつ走る爽快さ。それでいて自然のきびしさとかに対決しなければならぬ緊張感。冷静な判断力や緊密なチームワークも求められるシビアなブレイでもあるのだ。

本格的なクルーザーでなくても、海岸線に沿って人口の集まっている日本では、陸の宿泊施設を利用して数泊のクルージングも容易に計画できる。

全国各地のヤマハオーナーの間でもクルージングはさかんだ。シーズン中は毎日曜ごとに小グループのクルージングがおこなわれている。その中で比較的大規模なものを、大阪名古屋、東京と紹介しよう。



鳥羽クルージング

June. 29~30



途中ヤマハグループの鳥羽国際ホテルで休憩

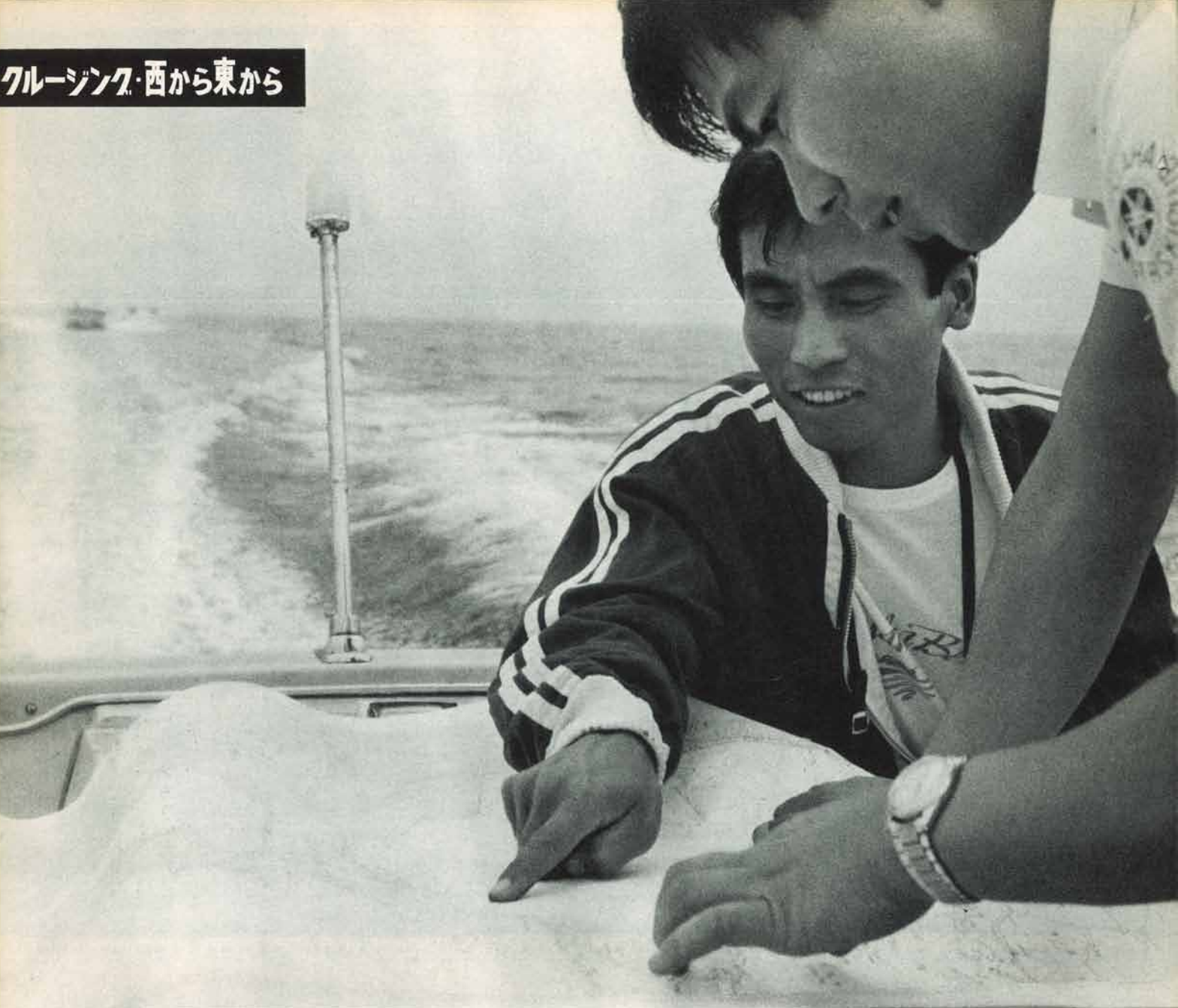
ヤマハと近鉄モーターズと共催でおこなわれたこのクルージングは、真珠のふるさと鳥羽が目的地。午前九時西浦マリナーを出発、約二時間の順調なクルージングの後、鳥羽着、昼食後、的矢湾の渡鹿野に向けて出発。その日は渡鹿野温泉の朝潮ホテルに一泊した。
二日目は午前十時渡鹿野島を出発。正午に西浦帰着という無理のないスケジュール。海を相手とするクルージングでは、このように余裕のある行動をとるのも大切なことだ。



午後3時には目的地的矢湾 渡鹿野に到着。ホテルのマリーナに接岸する。

二日目のメインイベントは海女の実演。とりたてのウニやアワビにさっそく舌つづみをうつ人もいた





日頃走りなれた場所でも航路の確認は慎重におこなわなければならない。



数分ももぐって海の幸を手にしてくる海女の妙技に一同カンタン海女もなかなか美人でした

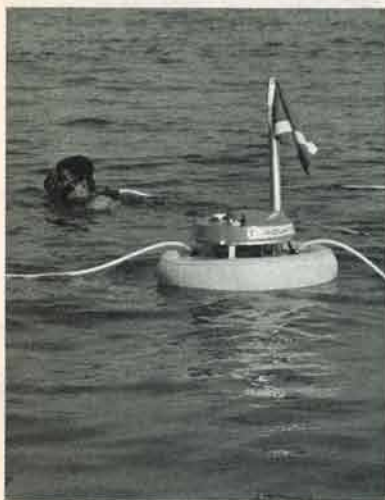




きれいな砂浜と水がいたるところにあるクルージング天国だ。



無人島でパーティー R.クルソーの子孫たちではありません。



エアブイを使ってダイビングも楽しんだ 乙姫さまにあえたかどうか。



July. 21-23



海図がいかに精密でも土地の漁師にはかなわない。

大阪支店主催で、三回目をかぞえるこのクルージングは、瀬戸内海というめぐまれた地理条件が他の地方からうらやましがられている。多数の島をぬって走り、無人島をみつけては休憩といった優雅なもの、海面はおだやかで、釣りの獲物も豊富なことからゴキゲンだ。今回の全行程は三百五十キロを越し、日程も二泊三日。コースは、西宮から明石海峡を抜けて家島群島、小豆島沖から高松を経て岡山県玉野で一泊。二日目は鷺羽山、和歌にもうたわれた瀬の浦の仙酔島をベースにして、尾道大橋を通過、因島などで水上スキーを楽しみ、二泊。三日目は塩飽諸島を経て一路大阪湾へと帰路についた。

全員瀬戸内の太陽に真黒。帰りついたマリナーでは夕やみに歯の白さだけしか目にうつらなかつたという噂も出たとか。



瀬戸内海は島が多い

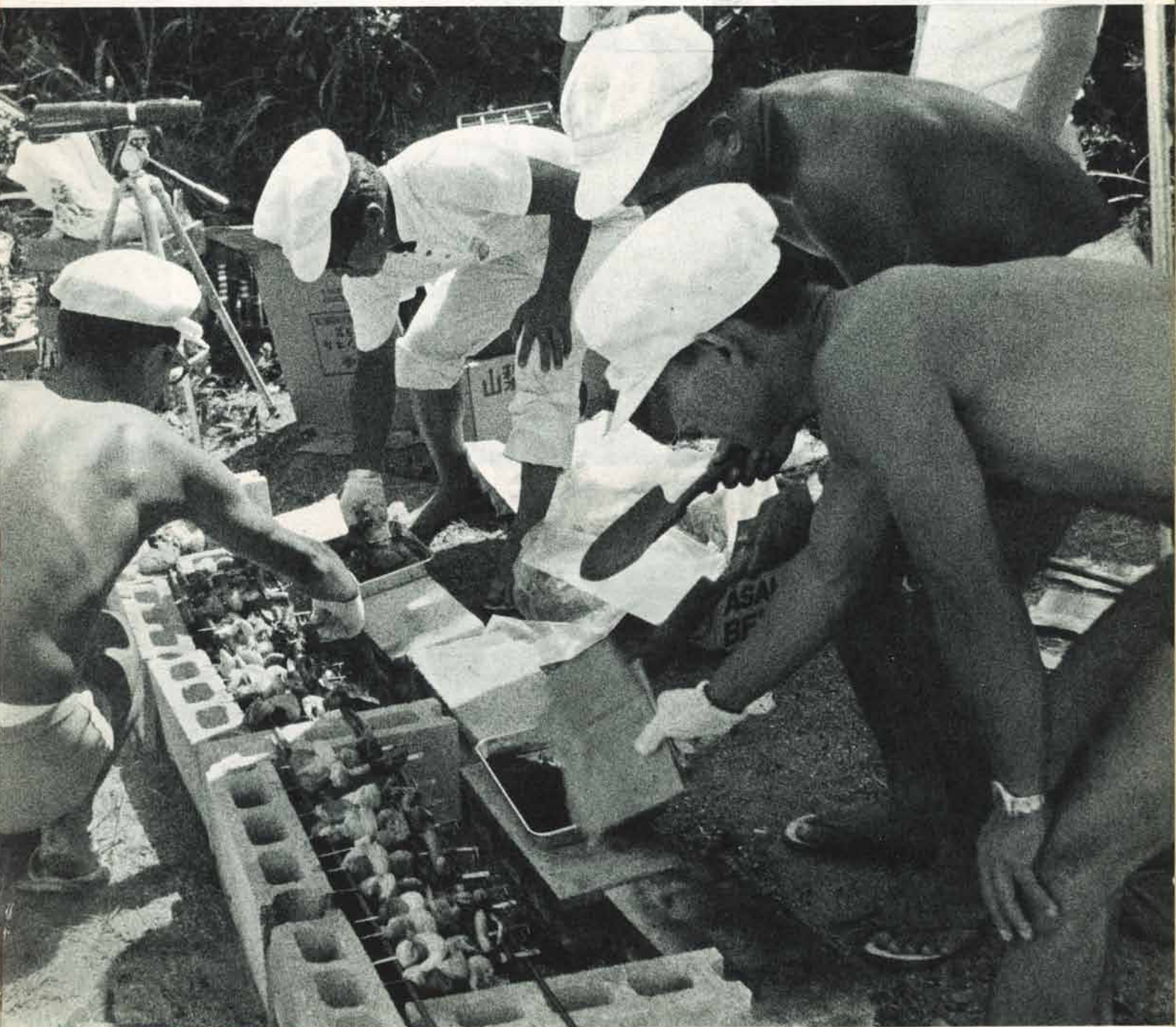


満艦飾の漁船に海上であいさつ 海の上も夏祭のシーズンのためか こんな風景も多い。



ばあとは女性の役目。

台風にわざわいされて一週間延期された東京支店主催の館山クルージングは、逃走台風7号のえいきょうによる晩の雷雨で心配されたが、出発の時間には風も収まり、予定通りスタートした。葉山と羽田の二カ所から合計十艇、房総半島の突端、洲崎燈台の沖合、沖の島に正午前到着。さっそくブロックでパーベキューのコンロ作り、充分に用意された肉が参加者の食欲を充分にみたした。



速カマドづくり 太陽のりつける緑の島に屋台でおなじみの匂いがただよう。

クルージング・西から東から



日頃ひと気のない沖の島も この日ばかりは海上の大歓楽境?と化した。



東京湾の荒波にすいたお腹もこれでたちまち回復 この日消化された肉はおよそ〇キロ…これはヒミツ。



ストライブ艦隊がぞくぞく洋上に集結



順調に焼けはじめれ



到着後 男どもは早

九ちゃんの 進水式



横浜子で海が好きな歌手の坂本九さんが、あらたにヤマハストライプ20クルーザーを購入。七月三日神奈川県佐島マリナーで進水式がおこなわれました。スロープの途中に固定された真白なボートの前に祭壇をこしらえ、神主さんのおはらいののち、九ちゃんをはじめ、列席のマナセプロ社長、女優の大空真弓さん、勝呂誉さん、ボーリングの矢島純一さんなどがつぎつぎと玉串をささげ、進水後の無事を祈ったあと、船名をイクエジュニアと命名し最後にシャンペンがかけられて無事進水式が終了しました。

エンジンは220馬力 70キロは出るなど九ちゃんもご満悦



神主さんが祭壇をしつらえて、うやうやしくおハライをする、これで進水後の航海は大丈夫と九ちゃんも安心。



テープに飾られたオノをふりあげて 進水式のクライマックスは九ちゃんの手で……



お祝いにかけてつけた遊び仲間、左から九ちゃん、勝呂巻さん、大空真弓さん、井口忠孝さん、矢島純一さん。





海図の よみ方

山に登るのに地図なしで行く人はいないが、ボート遊びで海図を用意している人はあんがい少い。岸の見える沖合で水上スキーをするだけだからと、ズボラをきめこんでいて、いざ長距離クルージングというときになってあわてて買ってきても読めなくては宝の持ちぐされ、こんなことのないように、日頃から海図に親しみ、通いなれた水路と図をてらし合せて理解しておけば安心だ。



ちよっと沖合に出た経験のある人ならわかることだが、沖から陸地を見ると、どこも同じに見えて、今出てきたマリナーの位置も見定められないことがある。だからクルージングなどで、初めてのマリナーに入るときなど、どこが水路かちよっと判別しにくいことなどはザラ、これが陸地なら交番にとびこめばいいわけだが、海の上ではそうもいかない。まだ明るいうちはそれでもいいが、少し暗くなりかけたりしたらまったく五里霧中よっぽど明るい町の灯でもない、沖の雲と陸をまちがえてしまうことだってあるのだから、注意しなくてはいけない。

こんなとき海図だけが頼り、海図には灯台や、陸地で目標になる大きな建物、樹などもしるしてある。灯台も、発光時間や間かくが記入してあるから、光り方を観察してどこの灯台とすぐわかるようになってる。また潮流や暗礁、沈船などの位置も記入してあるのだから安全なボートینگに責任を持つキャプテンとしては、これが読めなくてははじまらな



海図の種類

地図に用途別でいろいろな縮尺のものがあるのと同じく、海図も使用目的に応じた図がつくられている。もっとも小尺度が総図といわれるもので、四百万分の一より小さく、日本総部及附近諸海といったもの。順に、航洋図、航海図、海岸図、港泊図及び分図とあり、港泊図が山でもおなじみの五万分の一から大尺度のものとなっている。分図とは、さらに大尺度で港の一部などを書いたもので、港泊図の一部に取められている。

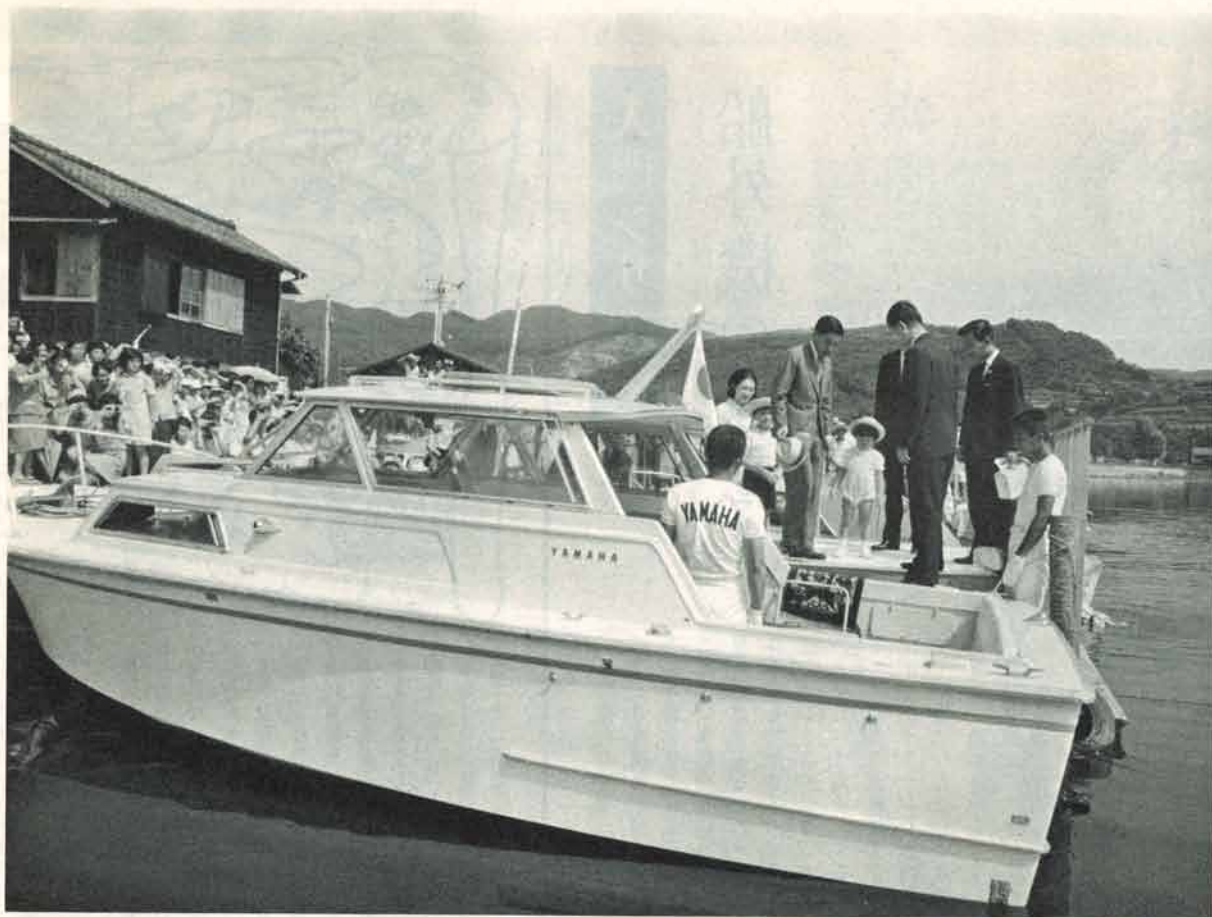
普通ボートینگに使うのは海岸図で十五万分の一くらいのものである。だいたい長い方で百五十キロくらい範囲が入ったもので、隣接するものを二、三枚用意すればたいのところはカバーできる。もちろん40フィートで沖繩あたりまで行くこうというなら、航海図も必要だろう。また、とくにマリナーや岸の近くで遊ぶ

海図の記号

- 沈船
低潮面上にその一部をあらわすもの
沈船上の水深明確なもの
沈船上の水深18メートルより浅いもの
沈船上の水深18メートルより深いもの
- 等深線
1 m
2 m
5 m
10 m
20 m
100 m
200 m
- 水深
S.D 不確実な水深
100 記載の錘測索の長さで海底に達しなかったことを示す
- 植物
樹
樹葉
針葉樹
草
シ
- 境界
境界
国境または県界
港界
港区界
- 建造物
教会
学校
水難救護所
基地

ヤマハ
ボート
トピックス

皇太子ご一家 ヤマハボートでバカンス



夏の高校野球大会の開会式にのぞまれる皇太子は、甲子園行の途中、浜名湖で水泳とボート遊びを楽しまれた。皇太子殿下と、学習院で検定六級の浩宮さまはお得意の水泳を披露、美智子妃殿下と礼宮さまはボートの上からお二人に声援をおくられた。



日の丸をたてて浜名湖を疾走するヤマハSTR-20-CR

泳いだり散歩されたり
ご一家は楽しい夏休み
をすごされた。

はこだて湾に初見得の トリマラン12デラックス



ラジオのついたコックピット

青函連絡船とトリマラン12DX

北海道の玄関口函館にトリマラン12デラックスが進水した。オーナーは、市内的場で安全自動車工業を営む和喜弘武さん。
和高さんは陸の混雑はもう限界だとみて、水の上への進出をこころみたく。
早速お得意の技術でトレーラーを製作、愛艇を愛車に引かせて海へ出かけていく青函連絡船はじめ多くの船が行きかう函館湾を走る和高さんのヤマハからは音楽が流れる。これもお得意のカーラジオがしこんであるためだ。ラジオ付の12フイートは全国でもこれだけでしようと和高さんはお得意だ。



新発売 12馬力 ヤマハ船外機 P-200

技術のヤマハが完成した高性能船外機—P-200

エンジン技術では世界に定評のあるヤマハが、新しく開発した船外機がP-200。高性能12馬力エンジンは、2キャブレター、2シリンダー方式。ヤマハ独自の第3掃気ポートの採用で、掃気効率もグリーンと向上、エンジンのねばり強さは抜群です。さらに、冷却水の温度は、サーモスタットで自動的に調節でき、アイドリングの時間を短縮して、エンジンの耐久性を一

段と高めました。そのほか、サビやエンジン音をシャットアウトしたエンジンカバー。運転のしやすいツイストグリップ、前面操作方式の採用。ボディに伝わる振動をなくし、乗りごこちを一層良くした、特性ラバー懸架。障害物にぶつかると自動的にかたむき、ボディの破損を少なくするハンドルなど、ヤマハ独自のアイデアがいっぱいです。

ヤマハ船外機P-200仕様

| | |
|-----------------|-----------------------|
| 総排気量—197cc | チェンジャー—前進・中立・後進 |
| 最高出力—12ps | トランサム高—S 432mm(17インチ) |
| 速度—9~32km/h | L 584mm(23インチ) |
| 重量—35kg | SUL 711mm(28インチ) |
| 排気方式—水中排気 | 使用燃料—混合ガソリン |
| 冷却方式—水冷 | 混合比—40:1(ヤマハ指定オイル) |
| 点火プラグ—B-7H(NGK) | ギヤオイル—ハイポイドギヤオイル |
| クラッチ型式—ドッグクラッチ | 燃料タンク容量—17ℓ |

オプションパーツ

リモートコントロール・点灯ランプ一式・重荷重用プロペラ



ヤマハポートNO. 24 昭和43年 9月25日発行
 発行所＝ヤマハ発動機株式会社(静岡県浜北市中条)
 発行人＝渡瀬善三郎



ヤマハ発動機株式会社

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 本 社 | 静岡県浜北市中条 05358-4111(代) |
| 北海道支店 | 札幌市北大通 8丁目定田ビル 0122-24-3247-9 |
| 仙台支店 | 仙台市東 4番町54 仙台運送ビル内 0222-22-4141(代) |
| 東京支店 | 東京都中央区日本橋小伝馬町 3-2 03-662-3731(代) |
| 名古屋支店 | 名古屋市北区辻本通 2丁目34 052-911-2171(代) |
| 大阪支店 | 大阪市西区北堀江通り 4-27 06-541-4331(代) |
| 四国支店 | 高松市田町11番地 3 龜菱ビル 2-2 0878-31-1661(代) |
| 広島支店 | 広島市皆実町 1丁目 8番地21号 0822-51-5771・1888 |
| 九州支店 | 福岡市比恵新町26 092-64-3606(代) |

—ヤマハポート取扱店—

